

議会だより

あなたと議会を結ぶ架け橋

この度の令和6年能登半島地震により被害を受けられた皆様にご心よりお見舞い申し上げます。
被災地の一日も早い復旧を心からお祈りいたします。

令和6年
第152号

令和5年
12月議会

1月28日発行

【令和5年12月定例会の動画視聴】

12月7日から14日までの定例会や一般質問をインターネットを通じて視聴ができます。ライブ配信もしていますが、当日の動画を録画し、視聴ができるようになっています。この機会にご覧ください。



一般会計補正予算…	P 2	一般質問 ……………	P 8
本会議審査 ………	P 3	議員全員協議会……	P17
開会中の常任委員会	P 5	閉会中の常任委員会	P18
議員表決結果報告 …	P 7	管外視察研修報告 …	P20

…… も < じ ……

令和5年度

一般会計補正予算(第7号) 審査特別委員会



委員長 南雲あや子



副委員長 高橋政喜

主な質疑

Q デジタルイノベーション戦略事業補助とは。
A ワンストップ移住・定住促進事業窓口業務、駅構内設置予定のデジタルサイネージ増設等。

Q 保健文化賞賞金の活用方法は。
A 授賞式費用、ファミリー健康プラン推進委員会に諮り事業に活用。

Q ふるさと納税経費の内訳は。
A 返礼品については総務省通知の30%以内、事務経費合わせ50%以内(湯沢町は48%)。

Q 光熱水費の高騰に伴う公衆浴場指定管理料の増額は、管理団体の決算が終わってからの補填としては。
A 高騰金額が大きいし、例年12月補正で対応してきた。冬季シーズンの業績が良ければ追加支払いはしない。

Q 雪国館のプロジェクションマッピングの仕様変更内容は。
A 映像が大きく映るように電源の位置を変更した。

Q 移住・定住促進事業に問題はあったか。また担当課の事務手続きはどこまでやるか。
A 問題はない。相談から申請、受付、審査、交付まで。

総額 3億3,914万3千円を追加

賛成全員 → 可決すべき

主な歳入	
国庫支出金	社会保障・税番号制度システム整備費 …… 1,048万9千円
県支出金	移住・就業等支援事業 …… 652万5千円増
財産収入	湯沢高原関連施設貸付収入 …… 1,781万4千円増
寄附金	ふるさと納税 …… 1億7,000万円増
繰入金	財政調整基金繰入金 …… 8,174万5千円増 湯沢こころのふるさと基金繰入金 …… 5,100万円増
諸収入	湯沢高原関連施設第三者借地料徴収金 …… 592万3千円 保健文化賞賞金 …… 200万円
主な歳出	
総務費	湯沢こころのふるさと基金事業 …… 2億4,641万円増 戸籍・住民基本台帳等システム改修 …… 1,048万9千円
衛生費	共同浴場指定管理料 …… 1,600万円増
土木費	除排雪機械・消雪施設修繕等 …… 3,800万円増
教育費	雪国館改修等工事 …… 1,100万円増

説明要旨

- ・職員異動とふるさと納税にかかる予算計上
 - ・債務負担行為*として、湯沢学園通学バス運行業務委託を追加
- *債務負担行為とは、歳出予算、継続費、繰越明許に定めたもの以外に、地方公共団体が債務を負担することを定めたものです。例としては、その年度に契約を締結する(=債務を負担する)ものの、支払いは翌年度になる場合には、歳出予算は翌年度計上になりますが、その年度に契約を締結するためには、債務負担行為の設定が必要となります。

第6回臨時議会

11月8日



12月定例会 本会議 審査

南雲正議長が、去る10月11日にご逝去されました。臨時議会開催に向け同日、新議長の選出をし、議案2件の審議が行われました。

新議長選挙の結果

新議長 白井孝雄

前副議長の白井孝雄議員が議長に当選されましたので、続いて副議長の選挙が行われました。

新副議長選挙の結果

新副議長 宮田眞理子

湯沢町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本年12月1日より町立湯沢病院の4階療養病棟を介護保険施設に転換し、新たに湯沢介護医療院「雪桜」として開設するための改正。

賛成全員 ↓ 可決

令和5年度病院事業会計補正予算（第2号）

町立湯沢病院の空調用冷却水ポンプ等を更新する必要が生じたため、

施設整備費を1億1,028万6千円増額するもの。

賛成全員 ↓ 可決



湯沢町保健医療センター



湯沢町介護医療院

12月7日

山鳥原公園指定管理者の指定

山鳥原公園管理組合

令和6年4月1日～令和11年3月

31日

賛成全員 ↓ 可決

湯沢町農山村開発総合センター指定管理者の指定

湯沢町農山村開発総合センター管理運営委員会

令和6年4月1日～令和11年3月

31日

賛成全員 ↓ 可決

湯沢町内水面振興対策事業施設（フィッシングパーク）指定管理者の指定

一般社団法人湯沢フィッシングパーク

令和6年4月1日～令和11年3月

31日

賛成全員 ↓ 可決

旭原花の郷体験交流施設（体験工房大源太）指定管理者の指定

農事組合法人滝ノ又農産

令和6年4月1日～令和11年3月

賛成全員 ↓ 可決

旭原花の郷陶芸工房（旭窯）指定管理者の指定

一般財団法人湯沢町総合管理公社

31日

賛成全員 ↓ 可決

湯沢町議会議員の請負の状況の公表に関する条例制定規程の制定

町に対し請負をする議員の状況を公表すること等により請負の状況の透明性を確保した。

賛成全員 ↓ 可決

湯沢町議会基本条例の一部を改正する条例の制定

議会基本条例に基づき議会基本条例等改正検討委員会を立ち上げ検証を行った結果、改正が必要となった。

賛成全員 ↓ 可決

湯沢町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例の制定

一般会計補正予算

本会議審査

開会中の常任委員会

議員表決結果報告

一般質問

議員全員協議会

閉会中の常任委員会

管外視察研修報告

議会基本条例に基づき議会基本条例等改正検討委員会を立ち上げ検証を行った結果、改正が必要となった。

賛成全員 ↓ 可決

公衆浴場法第3条中の「風紀に必要な措置」に関して「7歳以上の男女を混浴させない」とする決議

公衆浴場における子供たちの性的な被害を防ぎ、また子供の望まない混浴を回避することにより、子どもが健やかな発育発達に寄与するため、決議を提案。

賛成全員 ↓ 可決

公衆浴場法第3条中の「風紀に必要な措置」 に関し新潟県公衆浴場の設置場所の配置及び衛生措置の基準等に関する条例中に混浴年齢制限を設け「7歳以上の男女を混浴させない」と定めることを求める意見書

公衆浴場における子どもたちの性的な被害を防ぎ、また子供の望まない混浴を回避することにより、子どもが健やかな発育発達に寄与するため、決議を提案。

賛成全員 ↓ 可決

「年齢計算ニ関スル法律」の改正 についての意見書

湯沢町議会では、毎年、請願の趣旨に賛同し意見書を国に提出していたことから今年度においても同内容の意見書を提出する。

賛成全員 ↓ 可決

12月14日

令和5年度一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出にそれぞれ8,295万6千円を追加し、総額を91億3,431万7千円とする。
価格高騰低所得世帯支援金増のための歳入歳出予算の補正。

賛成全員 ↓ 可決



土樽共同浴場「岩の湯」



下湯沢共同浴場「駒子の湯」

12月議会

12月14日

討X論

議案第57号 湯沢町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

賛成討論 南雲 あや子
湯沢町では、この条例改正を令和6年4月1日から施行する。
職員と同様に4月に遡及して差額が支払われるべきものだが、人の入れ替わりが激しく対応が困難、として遡及は行わないとしている。
総務省の通知に従って差額を支給すべきと考えるが、給与自体が改善され上がることは必要なので賛成。

賛成討論 南雲 あや子
この再審法改正の意見書は、10月10日現在、155議会で採択された。再審とは、冤罪から無実の人を救済するための最後の手段として、確定した裁判をもう一度やり直す制度。刑事訴訟法には再審手続きのルールがないに等しい実情にあるとされている。冤罪は、最大の人権侵害の一つだ。無罪の人を救うには、再審しかない。

請願第3号 国に対し「刑事訴訟法の再審規程(再審法)の改定を求める意見書」

反対討論 岸野 雅人
この請願をよく読んだつもりだが、法的な仕組みとして「再審開始決定に対する検察の不服申し立ての禁止」など、私には理解が及ばなかった。議会議員として、筋の通らないもの、理屈の分からないものには賛成できない。

請願第4号 若者も安心できるよう、物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める請願

賛成討論 南雲 あや子
2022年に年金は来年度実質減額、年金最大0.6%目減りと新聞で報道された。
基礎年金の減額が低所得者層を直撃して、生活保護世帯の急増を招き消費の減退につながっている。そして、住民税や介護保険料・国保税の納付額にもつながり地方自治体財政に大きく影響すると言われている。
次年度は、国民の年金不安をなくし、物価上昇に見合った改定を。

開会中の常任委員会審査

開会中常任委員会審査とは、定例議会中に行われる議案審査を本会議の議決に先立って3常任委員会で行う審査です。

12月7日

総務文教常任委員会

委員長 渡辺千恵

議案第56号 湯沢町職員給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

国は令和5年8月7日の人事院勧告をうけ、民間給与との格差0.96%を解消するため、初任給を始め若年層に重点を置く引き上げる改定。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第57号 湯沢町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

令和5年8月7日の人事院勧告に基づき、湯沢町職員の給与改定に準じて会計年度任用職員についても、所要の改正。令和6年4月1日施行。

賛成全員 ↓ 可決すべき

請願第3号 国に対し「刑事訴訟法の再審規定（再審法）」の

再審規定（再審法）」の

議案第59号 湯沢町手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定

令和6年3月1日より、戸籍謄本等の広域交付、戸籍（除籍）電子証明書提供用識別符号の発行、届書等情報内容証明書の交付等が始まり、その手数料を新規に追加するため、手数料徴収条例の一部を改正。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第63号 字の変更について

国土調査事業において、土地所有者立会いによる境界の確認の結果、字の構成が現状にそぐわないものについて合筆するための変更。大字湯沢市内の34筆の字を変更。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第71号 令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算それぞれ279万9千円を追加し、総額を11億9,294万8千円とするもの。歳入の社会保障番号制度システム整備補助金は、マイナンバーと健康保険証の一体化に伴う周知広報の事業費分。一般被保険者高額療養費が多くなっているため244万円を増額する。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第72号 令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算にそれぞれ36万9千円を追加し、総額1億2,441万5千円とする。

歳入の社会保障番号制度システム整備補助金はマイナンバーと健康保険証の一体化に伴う周知広報の事業費分。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第73号 令和5年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算にそれぞれ1,917万円を追加し、総額9億7,355万1千円とするもの。歳入の主なものは、国庫支出金を554万7千円、支払基金交付金を580万5千円増額。歳出の主なものは、介護保険システム改修275万3千円は、介護報酬の改定に伴うシステム改修費。施設介護サービス給付費1,800万円。

Q 要介護者は減り、要支援の方が増え給付費は全体としては増えている。何期目が分らないが、年度末残高は大体予定通りか。

A 今8期で最終年度である。予定よりは多く、基金は積み上がっている状態。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第76号 令和5年度病院事

業会計補正予算(第3号)

収益的収入では、事業収益のうちその他医業外収益を20万2千円増額しており、病児・病後保育事業委託に対し、国の補助金要項規定により、実績に応じて精算が発生しその受け入れ収入と湯沢病院の修繕で出た金属スクラップ売却分。収益的支出では、病児・病後保育業務委託の精算分を一般会計に繰り戻す。

賛成全員 ↓ 可決すべき

請願第4号 若者も安心できる

よう物価上昇に見あう老齡基

礎年金等の改善を求める請願

賛成少数 ↓ 不採択

陳情第6号 年金制度における

外国人への脱退一時金の是正

を求める意見書の採択を求め

る陳情

賛成なし ↓ 不採択

産業建設常任委員会

委員長 並木利彦

議案第60号 湯沢町下水道事業

の設置等に関する条例の制定

令和6年度から下水道事業が地方公営企業法適用となることに伴い、新たに条例を制定する。

Q 前とどこが違うのか。

A 今までの湯沢町特別会計条例というものは、下水道特別会計、公共下水を設置する歳入歳出について決めている。

Q 複式簿記だと資産台帳が必要だがどうするのか。

A 3年前から外部のコンサルを入れている。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第61号 湯沢町下水道施設

改修基金条例を廃止する条例

の制定

令和6年度から下水道事業が地方公営企業法適用となることに伴い、下水道施設改修基金を取り崩し、流動資産として運用するため、本条例を廃止する。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第62号 湯沢町水道事業の

設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定

この条例改正は、資本剰余金の扱いについて、所要の改正を行う。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第64号 町道の廃止、変更

及び認定

廃止する路線：貝掛二居線
変更する路線：萱付線
認定する路線：二居中央線

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第74号 令和5年度下水道

特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9億1,512万9千円とする。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議案第75号 令和5年度水道事

業会計補正予算(第1号)

この補正予算は、収益的収入及び収益的支出を増額する。事業収益のうち他会計補助金を12万円増額し、総額を3億7,798万3千円とする。収益的支出では、事業費用のうち総係費を2万9千円増額し、総額を3億3,749万6千円とする。

賛成全員 ↓ 可決すべき

議会活動日誌

10月4日 議会広報常任委員会

5日 湯沢町認定こども園運動会参画

令和5年度国道353号県境開削

促進協議会総会(群馬県中条町)

議会運営委員会(タブルレット端末

導入検討視察(刈羽村)

議会広報常任委員会

チロル州セルデン町訪日団歓迎夕

13日 町村議会議員後期研修会(新潟県

16日 南雲正議長 葬儀

議会広報常任委員会

生活福祉常任委員会

2023湯沢町ふれあい福祉健康

22日 フェスティバル

湯沢町議会基本条例等改正検討委

24日 員会

25日 全国町村監査委員会研修会(東京

LINE CUBE SHIBUY

24日 令和5年度南魚沼地域合同除雪出

動式(国土交通省塩沢除雪ステ

25日 ション)

新潟県町村会創立100周年記念

26日 祝賀会

産業建設常任委員会

27日 令和5年度一般国道17号新三國ト

ンネル開削促進期成同盟会総会及

び意見交換会

28日 例月出納検査 監査委員

湯沢町教育フェスティバル学習発

表会・合唱コンクール参画

30日 令和5年第2回魚沼地域特別養護

老人ホーム組合議会及び監査(八

31日 色園)

生活福祉常任委員会 視察研修

(東京八王子・神奈川県横浜市・



議員表決結果報告

令和5年11月臨時会及び12月定例会

・採決結果の記載方法 (可=賛成多数で可決・採択等の場合・否=賛成少数で否決・不採択等の場合)
 ・表決結果の記載方法 (議員個々の賛否:賛成=○・反対=×・欠席=欠):議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	飯田正義	水谷幸乃	南雲あや子	渡辺千恵	南雲好幸	並木利彦	高橋政喜	岸野雅人	田村計久	宮田眞理子	
11月臨時会	湯沢町病院事業の設置等に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和5年病院事業会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町職員の給与に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町国民健康保険税条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町手数料徴収条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町下水道事業の設置等に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町下水道施設改修基金条例を廃止する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	字の変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	町道の廃止、変更及び認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	山鳥原公園の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町農山村開発総合センターの指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	湯沢町新内水面振興対策事業施設(フィッシングパーク)の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	旭原花の郷体験交流施設(体験工房大源太)の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	旭原花の郷陶芸工房(旭窯)の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12月定例会	令和5年度一般会計補正予算(第6号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度介護保険特別会計補正予算(第2号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度下水道特別会計補正予算(第3号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度水道事業会計補正予算(第1号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和5年度病院事業会計補正予算(第3号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国に対し「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出 若者も安心できるように物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める請願		可 不	○ ○	○ ○	○ ○	○ ×							
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情		不	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
湯沢町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
湯沢町議会議員の請負の状況の公表に関する条例施行規程の制定		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
湯沢町議会基本条例の一部を改正する条例の制定		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
湯沢町議会議員政治倫理条例の一部改正		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公衆浴場法第3条中の「風紀に必要な措置」に関して「7歳以上の男女を混浴させない」とする決議		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公衆浴場法第3条中の「風紀に必要な措置」に関し新潟県公衆浴場の設置場所の配置及び衛生措置の基準等に関する条例中に混浴年齢制限を設け「7歳以上の男女を混浴させない」と定めることを求める意見書		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「年齢計算二関スル法律」の改正についての意見書		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「再審法(刑事訴訟法の再審規定)」の改正を求める意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

一般会計補正予算

本会議審査

開会中の常任委員会

議員表決結果報告

一般質問

議員全員協議会

開会中の常任委員会

管外視察研修報告

日	内容
27日	例月出納検査 監査委員
22日	財政援助団体監査 監査委員
20日	魚沼地域特別養護老人ホーム組合 監査(八色園)
14日	第15回議員全員協議会 スキー振興協議会
13日	湯沢高原スキー場安全祈願祭及び「山頂カフェ」内覧会
7日	第7回議会定例会(会期8日間)
6日	湯沢町議会常任委員会
5日	神立スノーリゾート安全祈願祭 議案勉強会
4日	令和5年度青少年問題協議会 議会運営委員会
29日	魚沼地域特別養護老人ホーム組合 監査(八色園)
29日	町村議会議長全国大会及び令和5年度町村議会議長全国研修会・実行運動(県関係国会議員町村議会)・議長会議・新潟県町村議会議長会令和5年度第3回臨時総会(東京NHKホール・ホテルルポール麹町)
28日	新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員事業説明会(新潟県自治会館)
27日	産業建設常任委員会 例月出納検査 監査委員
24日	湯沢地区町内会長懇談会(湯沢地区選出議員)
21日	総務文教常任委員会
17日	正副議長挨拶廻り(魚沼市・津南町)
16日	湯沢町議会基本条例等改正検討委員
15日	南魚沼市正副議長挨拶 来庁
14日	会総会・要望会・意見交換会 町・六日町間「整備促進連絡協議会」
13日	上越魚沼地域振興快速道路「十日記念を祝う会」
12日	湯沢町社会福祉協議会設立50周年記念発表会
10日	毛渡沢水力発電所開所式
9日	第13回議員全員協議会
8日	第14回議員全員協議会



Q 湯沢観光や関連産業情報を まとめたリーフレット作成は & 飯田正義 (文責)



A 行政のデータも含めDMOと 作成を検討している

京都市のような観光の効果を分かりやすく伝えるリーフレット作成は

質問 雪国観光圏が雪国観光圏シンポジウムを開催し、DMO政策を主導されていた大社先生をはじめ、観光庁や新潟県観光文化スポーツ部の方々が当日講師として来られた。DMOは「地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔」としての立ち位置を観光庁として定めている。湯沢町観光振興計画には「観光消費額や経済波及効果等を定期的に発信することで、町の基幹産業としての観光産業の実態を広く共有していきます」とあるが、シンポジウムで例として出されていた京都市のようなリーフレットの作成は。

連産業、産業の目指している姿等は、行政のデータの開示も含めて湯沢DMOとともに検討していく。

答弁 振興計画の戦略7にインナープロモーションの掲載があり、地域内への分かりやすい情報共有をしておく必要がある。観光産業や



観光の効果を分かりやすくお伝えするためのリーフレット「私たちの暮らしと京都観光」

AIカメラを活用したリアルタイムでの来町調査

質問 河川の氾濫等の防災で活用されていたAIカメラが昨今道路の交通状況、人の通過や滞留人数等の混雑情報をデータで測定できるようになっている。AIカメラを主要箇所へ設置し、町内外へ情報発信をしつつ、湯沢観光の発展に向けたデータ収集に役立てては。

答弁 観光産業を効果的に成長させていくためには、何よりもまずはマーケティングが重要であり、そのベースとなる市場調査やお客様の動きの把握はこれまで以上に精度を上げていく必要があると考えている。デジタル技術や情報、今回のAIカメラの活用もその一つになると考えるので今後研究をしていく。

冬季や繁忙期の夕飯難民対策

質問 昨シーズン駅周辺で夕飯難民の方々が多くいたが、今後の改善策や検討している取り組みはあるのか。

答弁 湯沢町の観光にとって大きな課題だと考えている。現時点では冬期間に湯沢DMOがキッチンカーを3台程度置くことや1月から3月まで各月でゆざわナイトマ

ルシエの開催を予定しており、上越線を活用し六日町周辺の飲食店を誘導するようなポスターやリーフレットを南魚沼市と作成する予定だ。



Q 町としてできる終活支援を整備せよ

みや た ま り こ
宮 田 眞理子 (文責)



A 実施する方向で勉強させていただく



横須賀市のパンフレット

質問

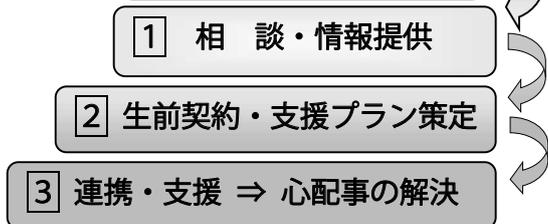
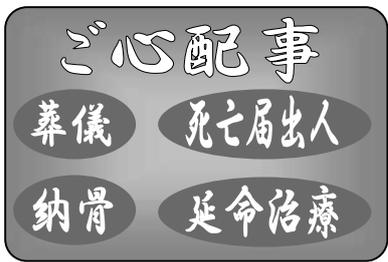
生活福祉常任委員会視察研修の横須賀市で学んだ二つの就活支援事業について、町でも是非整備するべきと感じた。
一つ目は、生活にゆとりがない方を対象に、民間事業者と協力して、低額で葬儀納骨までを支援する「エンディングプラン・サポート事業」である。
二つ目はすべての希望する

市民を対象に「私の終活登録」である。この事業は、緊急連絡先、支援事業所、かかりつけ医、延命意思書の保管場所、終活ノートの保管場所等等、ご自身がお元気なうちに登録し、倒れて自分で伝えられなくなったり、亡くなってしまったりした時に、消防・警察・病院・福祉事務所・本人指定の方から照会があった場合内容をお知らせする制度である。
この二つの事業により市民の死後の尊厳が守

られるという。最善の策は生前解決である。
独居死亡者の自宅から遺書が見つかったても、生前の意志が生かせない。
身寄りがいない方が救急搬送され、終活登録をしていたため緊急連絡先が分かり入院することができたなどのエピソードもご紹介いただいた。
湯沢町社会福祉協議会で勉強会を行っており、湯沢病院でも「わたしの心づもりシート」などそれぞれに取り組んでいる。町としてしっかりと終活支援を整備してはどうか。

答弁

生活福祉常任委員会の視察研修に同行の健康福祉部長、健康増進課保健師から、身寄りのない方の身元保証問題、引き取り手のない遺骨などの最善の策は生前解決にあり、住民の尊厳を守ることを理念に行っている二つの事業を報告を受けている。市民に寄り添った良い事業だと思う。
社協、湯沢病院の取り組みもありどのように取り組むか調査検討していく。実施する方向で勉強させていただく。





Q 在宅における介護は、町内どこであれ平等に

& 高橋 政 喜 (文責)



A 遠隔地は人手不足もあり、町内平等はその通り

遠隔地の冬期間ヘルパー利用は

質問 二居・浅貝地区の冬期間の訪問介護は今年より社会福祉協議会にて実施決定。(訪問介護は年間事業)しかし皆さんへの周知が不足ではないか。

答弁 木曜・土曜の週2回実施の周知は再度行う。※詳しくは、一般質問をパソコン等で見られます。

町道、大峰線の道路整備は

質問 町道大峰線の大峰山近くの展望台付近道路が凹凸であり通行に支障があり、整備する考えは無いか。

答弁 栄太郎峠の先まで町道認定であり、また新潟県や南魚沼市・湯沢町が進めるゴールデンサイクルルートとして予定しているので整備は前向きに検討している。430mが対象。



大峰山展望台



町道大峰線

大源太湖の周辺遊歩道整備は

質問 多くの高齢者の団体が訪れているが遊歩道に危険箇所が見られる。遊歩道の整備は行ったが弱者の事も考えて整備されたのか。

答弁 遊歩道も46年の年月が過ぎルートも何度か変えた、しかし希望大橋から入る人達も多く下りの階段が危険のため階段の改良を行う。滑り止め対策は行う。



大源太湖遊歩道

介護タクシー助成事業は

質問 介護タクシー利用助成事業実施要項では、通常の交通機関の利用困難の人の為に費用の一部を助成し、経済的負担軽減というならば介護保険タクシーの選択肢はないのか。

答弁 現在近隣に介護保険タクシーの業者は無いので。

災害時の備蓄品は

質問 「湯沢町地域防災計画」において避難所において備蓄物資は多くあると思うが、食料は「おにぎり、パン等の簡単な調達食」となっているが、高齢者・障害のある人達のために嚙下食(えんげ)の備蓄はいかがか。

答弁 順次備蓄してまいります。



Q 横須賀市の終活支援、見習おう

岸野 雅人 (文責)



A それら事業を参考に調査・検討していく



資料の一部

生活福祉の視察研修で「周
没期の尊厳と行政の責務」な
る研修をした。

①エンディングプラン・サ
ポート（限定条件下の方が
対象）

本人の意思により協力葬儀
社と生前契約、行政が支援し
納骨まで見届ける。生前の意
思が叶えられ、さらに行政に
よる埋葬を回避。

②終活登録制度（年齢や経済

状況は不問）

終活情報を行政に登録し登
録証を発行、緊急の際、警
察・病院・救急からの問い合わせに必要事項を適切に伝え、
登録者の身元を保証し、情報
や契約を活かした円滑な対応。

質問

さて湯沢町、身寄りの
ない高齢者の一人暮らし
の方、障がいや健康の不安
を抱え支援や介護の必要があ

り、かつ周囲
のお付き合い
のない方が
増えていない
か。
旅行者も移
住者も多い、
人が倒れてい
てもどこの誰
だか分からな
い。そんな傾
向は続くし増
えると思う。
「エンディン
グノート」記
入を促すだけ
でなく、住民
の安心に繋が

る行動が求められる。

構想の理解浸透には時間が
かかるし、能力と努力も必要。
導入への考えはいかがか。

答弁 提案の2事業を参考に
調査検討していく。

社協や湯沢病院の取り組み
事業とも連携する。

総合的な人材確保の長期計画を

- ① 保健師や保育士の身分や権限の拡大を。
- ② 土木・建築など技術系人材の確保・養成を。
- ③ デジタル技術系エキスパートの養成を。

質問

①は職員採用の見直し
や組織編成のあり方が
問われる。現場の専門能力を
有する職員の確保には処遇が
課題と考えるが、いかがか。

②③の人材確保と養成は、
各々3年に2人ずつ養成して
も10年で6人。現在の立ち遅
れた現状からすると、15〜20
年計画での人材確保と養成が
必要。「今は何とかなってい
る」ではなく、将来の安定の
ため、15〜20年先に向けた計
画が必要。いかがか。

質問

結局、問い合わせは役
場に来る。情報管理は
公務員がすることが必要とな
る。

答弁

主体が町となるのは同
感。

答弁

①保健師は今議会で権
限拡大、保育士も検討。
②はR6適正化計画で、養成
も含め検討する。
③は計画的に養成に努める。
職員のやる気を喚起しつつ、
採用も考慮。

質問

「やる気」だが、資格
能力手当てはあるのか。
ない。困もない。

答弁

Q 保健師の処遇とあり方

&

なぐもこ
南雲あや子(文責)



A 処遇改善に向け給料表の改正を行った



けんこつ体操教室

質問

湯沢町では2000年から介護予防事業に力を入れており、介護認定率は13.52%で新潟県では一番低い。このような実績を作ってきた保健師の役割は大きい。実績と仕事内容をどう評価しているのか。

答弁

多岐にわたり町民に寄り添い成果を上げているものと、高く評価している。湯沢町の保健師は、係長以上の職位に就いているものはいない。職員労働

質問

組合との交渉でも町長は、職位の必要性を検討するとしている。どのように検討して、今回の給料表改正に至ったのか。

答弁

医療職と行政職との給料等の差は認識している。担当部局と相談し、やる気を喚起できる職階にした。

質問

新しい級別職務分類表を運用し、さらに専門的知識を大いに発揮してもらい部長職などに道を開き元気な町に。

答弁

今回の改定で、課長職を設けた。部長職への処遇につなげていくことは今後の課題となる。

空き家等への対応状況と今後の対策

質問

現在、空き家は15349件とのこと。

1, この調査は、どのような方法で行ったものか。また、苦情や相談はあるか。

2, 「空き家等の適正管理に関する条例」に定める危険家屋等の所有者に助言・指導・勧告を行った例はあるか。

3, 空き家対策としては、適正管理に関する条例によるものと空き家情報登録制度(空き家バンク)によるものがあるが、双方の関係と連携は。

答弁

1, 平成29年度に実態調査を業者委託し、その後の情報を加除した。苦情・相談は年数件ある

2, 助言・指導・勧告はない

3, 空き家対策は防災管財課、空き家バンクは企画観光課、実態調査を共有し連携している。

質問

危険家屋の解体は、特別措置法に基づく「空家等対策計画」を各自自治体が策定。それに基づいて行われている。湯沢町は、この計画が策定されていない。

また、空き家を撤去しやすいように独自の補助制度を作ってはどうか。

答弁

「空家等対策計画」は今年度中に作成する。独自の補助制度は危険を未然に防ぐ効果も期待できるので必要性を検討していく。





Q GXの取組みは

並木利彦(文責)



A 湯沢町も積極的に取り組む

療育医療

質問 「療育」とは「治療教育」。発達に遅れがある子供たちのための治療と教育をサポートすること。魚沼圏内で小規模の療育センターの施設を設置することはできないか。

答弁 新たに施設をつくりスタッフを確保して運営していくことは、今の段階では厳しい。

質問 治療教育大切だが、その子の両親が現実を客観的に受け入れる事の重要性をどう思われるか。

答弁 相談場所は、湯沢町総合子育て支援センターの療育発達支援事業の乳幼児検診で発達課題のある子を見つけ、親子教室への参加を促したり、精神科医師の未熟児クラス巡回で、課題がある子の、発達状況の確認や親子教室への参加を促している。

エンディングプラン・サポート事業

質問 湯沢町はリゾートマンションに居住している独居老人の方が多数おられる。個人情報として把握できない現状。エンディングプランサポート事業があれば、独居老人の方と湯沢町にとってメリットがあると思われるが。

答弁 調査検討する。

湯沢町づくり機構補助金

質問 湯沢町観光町づくり機構の各プロジェクトをどのように予算に組み込むのか。

答弁 各プロジェクトの次年度に必要な予算を集約し、理事会で決定する。それを受け、企画観光課内、一般社団法人湯沢町観光町づくり機構運営支援補助金要項に基

づいて査定し、予算案に反映する。

質問 機構の補助金申請は、当年の、収入・経費・イベント費用、特別費用を現状予測した申請額にならないか。

答弁 当年度の収入支出を参考にして試算・積算されるものと考えている。

DXとGX

質問 GXは、再生可能エネルギーによる社会改革を目指す取組み。自然と協調を目指す湯沢町のGXの取組み

は。

答弁 GXを湯沢町でも積極的に取り組む。

AI普及でデータセンター需要拡大

質問 AIの需要が急速拡大で、データセンターを新設、活用を推進しているが湯沢町はどう対応するのか。データセンターの熱源を利用しノリタ跡地の企業誘致も考えられるが。

答弁 雇用の場所や新たな展開があれば町として取り組む。

■AIの普及によるデータセンター需要拡大の理由と事例、課題を解説





Q 湯沢町消防団女性部の 必要性をどう考えるか

わた なべ ち え (文責)
渡 辺 千 恵



A 女性目線での活躍が 期待される

・ 消防器の使いかたや心肺蘇生などを浸透させられるのではないかと。
 ・ などさまざまあげられる。災害が起こった場合「自助、公助、共助」が大切であるが一番は「自助」である。

質問 先月、新潟県女性消防団員活性化大会に参加し、各市町村の取り組みを見て改めて湯沢町にも作る必要性を感じた。理由としては、今まで以上に地域に密着した活動ができるのではないかと。
 ・ 町民はもちろん、子供や高齢者にも自主防災についての心構えや行動を伝えられるのでは。
 ・ 火災、災害が昼間起きた場合に男性不在時、少しでも早く初動ができるのでは。



新潟県女性消防団員活性化大会

答弁 女性ならではのきめ細やかな活動が期待されるが町が決定権がないので、消防団、南魚沼消防などと協議をして進めていきたい。

・ オリンピック種目になり、子供達の夢にも繋がる。
 ・ 部活動地域移行の中、子供達の選択肢の一つになる可能性もある。
 ・ 小さなお子から大人まで、また親子で同じことを楽しめる。
 ・ スケートボード場ができることにより、将来アーバンスポーツにも繋がる可能性もあるのでは。
 ・ などです。まずは高架下を含め、スケートボード場を作ること考えているのか。

質問 今まで使っていた高架下が工事のため使えず、今年度は月2回の小学生スケートボード教室を旧ゲートボール場脇の駐車場で行ってきた。また多くの署名も出されている。スケートボードについての今後の可能性について
 ・ 昔は遊びの一つだったが現在はスポーツとしての認識に変わっている。



小学生スケートボード教室

質問 道具も古くなり怪我などが心配される。道具についてottoの助成金が適応できるのではないかと。
答弁 申請が通るかかわからないが申請を考えていきたい。(助成金はセクション部門で750万円の4/5の範囲)

スケートボード場について

答弁 大きなことは予算、ニーズの問題からでないかもしれないが、時代のニーズも変わってきている。小学生なども興味があることなどから今後、高架下を含め考えていきたい。



Q 今後のエンディング事業への取り組みは

みず たに ゆきの の
水谷幸乃(文責)



A 湯沢町としてどのような取り組みができるか調査検討する

答弁 学園内だけでなく外で多くの人・モノ・コトとの触れ合いを大切に。人を思うことができる人は自分を大切にできる人。湯沢学園に通うことがウェルビー

質問 ウェルビーイングの観点からの今後の湯沢学園の教育を伺う。

答弁 学校評価を通じ、地域・保護者の意見を取り入れながら対応を考

質問 課題に対する対策はどうか。

A

全体的に全国平均を上回る結果である。教育基盤を確立しその上で柔軟な対応が必要

Q

学力調査におけるウェルビーイングの指標調査の評価と課題は

質問 身元確認や身元引受人の問い合わせの実例はあるか。

答弁 人数は住民基本台帳で把握。地区担当保健師やその他検診事業、民生委員や社会福祉協議会、地域住民などを通して把握している。

質問 独居や高齢者の把握の方法は。

答弁 地域連携室からの問い合わせはあった。問い合わせ時に迅速に情報提供できる状況にあるか。

答弁 可能な限り直ぐに対応している。行政から地域連携室への問い合わせもあり、連携を図っている。

答弁 現在活動の1つとして教育フェスティバルを行っている。今後もさまざまな意見を聞きながら活動を検討していきたい。ホームページは確認し、アップしていく。

質問 湯沢町のブランドデザインをPRし、地域全体を巻き込むことが必要である。ホームページへ、ブランドデザインの掲載がないが予定はあるか。

質問 湯沢町のブランドデザインについて伺いたい。



令和5年ふれあい福祉健康フェスティバル



Q

福祉フェスティバルを活用し就職相談や仕事のPRなどの取り組みはいかがか

A

就職相談は難しいがPRという点は大切である関係団体と協議して検討する

質問 町全として福祉フェスティバルのあり方をどのように捉えているか。

答弁 楽しみながらボランティア団体の活動を知り、興味関心を持つ場として定着していると考え

質問 今年度湯沢学園の生徒もブースも出店した。キャリア教育の一環ともなると考えるがその点についてはいかがか。

答弁 将来を見据えた福祉対策のためにも良いことであった。他のボランティア活動への参加も推奨していきたい。

質問 町全体で介護・福祉に興味関心を持てる取り組みは考えていないか。

答弁 新たな取り組みは考えていない。検討する。

議員全員協議会

9月21日(木) 第12回

令和5年度の湯沢小・中学校の

学力実態について

- ・学力統計（NRT、全国学力・学習状況調査）の結果から、現状を把握し、今後の教育方法の改善・反映へと活かす。
- ・対象科目は、小学生は国語と算数（数学）、中学生は社会、理科、英語を含んだ学力調査。
- ・国語は全国平均を上回るクラスがあるが、算数と社会は全国平均を下回っていた。理科は昨年よりも数値を伸ばしたクラスもあった。
- ・令和2年度からの調査推移は上向いていたが、学校全体で見ると、令和5年度は小・中学校ともに全教科で全国平均を下回る結果となった。
- ・ただし、英語の話す調査は全国的に正答率が低かったが、湯沢中は全国平均を上回る結果。
- ・学習状況調査では、基本的な生活習慣を調査しており3項目の「朝食」「就寝」「起床」は全国と比較すると学年毎によって変動があった。

・学力調査と学習状況調査とをクロス集計すると、平均正答率が高い児童は「平日に勉強することが多い」「読書が好きである」という分析結果であった。

・湯沢学園としては夏季休業中に全教員を対象とした職員研修を実施、教員の指導力向上に取り組みつつ、調査結果に基づいた改善策を策定し、学力向上に務めていく。

Q テレビゲームや動画視聴の調査は無かったようだが、独自に調査をする予定はあるか。

A 今回の調査では無かったが、それらの影響は色濃く出ていると感じている。開校以来メディアルールを作成し、学年毎に目標値や約束事を定めているが、やや形骸化していることを心配している。学校運営協議会と協力して、各家庭への働きかけをしっかりとやっていく。

Q 地域全体で子育てができる仕組みを議論できないか。

A コロナによる3年間で地域との関わりが止まっていたことが影響していると思う。現実の体験、生の体験は子供たちにとって貴重である。湯沢ならではの体験活動を大事にし

ていきたい。

Q 子供たちには、20年後、30年後、40年後に活躍するための能力を身につけさせることが大前提ではないか。

A 20年後は今ある半分の仕事が無くなっていると思う。これからは、人としての力が重要になる。子供たちには「考える力」を育てていき、自ら考え行動できる人になってもらいたいと考えている。

湯沢高原の決算について

・2022年6月～2023年5月の状況は、来場者数が167,984人で対前年比138.3%。売上は6億4,406万9千円で対前年比146.8%。来場割合が多いスキー修学旅行は、コロナ前の校数20校、利用人数約8,000名まで回復。

・売上では、3億3,682万9千円、対前年比160.9%、コロナ前を超える売上となった。

・春シーズンは、連休中日の4日間で約3,200名の来場となり、コロナ前に戻ってきている状況。

・3年間コロナの影響で赤字であったが、今期は黒字となり、4年ぶりに第三者地代及び施設使用料が支払われた。

・第三者地代5,923,265円

施設使用料17,814,024円

豊島区との協定締結について

・豊島区との交流は平成22年から始まっており、12月6日に協定締結式を開催予定。主な交流案は、豊島区内で行われるイベントへのブース設置

・豊島区内で行われるアウトドアフェスへの協賛

・湯沢町交流都市との交流促進事業補助金

・協定は相互交流都市協定で、さまざまな分野で交流が可能。

11月8日(水) 第13回

正副議長選挙について

・正副議長の選出は地方自治法第118条第1項もしくは第2項に基づいて選挙で決定する。

・確認の結果、議長には1名の希望者（白井孝雄議員）、副議長も1名の希望者（宮田眞理子議員）であり、全議員に諮った結果、本会議において選挙することに決定した。

一般会計補正予算

本会議審査

開会中の常任委員会

議員表決結果報告

一般質問

議員全員協議会

開会中の常任委員会

管外視察研修報告

閉会中の常任委員会調査

※閉会中常任委員会調査は、閉会中（定例議会と定例議会の間）に行われる継続審査や、調査の必要がある議題について行われる委員会です。

総務文教常任委員会

湯沢町の防災

緊急情報等の伝達方法は、電話・広報車・緊急情報メール・緊急速報メール・LINE・防災行政無線・消防無線サイレン吹鳴装置・防災ラジオ。災害用非常食は、ご飯・パン8,000食。町民1/3（2,600人）の3食/日分を備蓄。近隣市町村とも災害協定を結んでいる。消費期限が近いものは社会福祉協議会へ提供。

Q 地域ごとに想定される災害に対する訓練が必要と考える。

A 実施できるよう、各地区の自主防災組織を中心にリーダーの育成を検討。

Q 湯沢医療センターを含めた訓練の実施予定は。

A 今後総合訓練の中で検討する。

湯沢町の入札と契約状況

入札プロセスについての説明と令和2〜4年の入札件数の報告。

Q 入札は課ごとの管理か。

A 全て総務課の管轄である。

Q 建設工事請負業者のランクはホームページで見られるか。

A 掲載していない。

湯沢高原ロープウエーを契約例として説明。契約期間10年へ変更。自動更新は行わない。専門的な分野以外の工事は一般入札で実施。

Q 売却についてその後の進展は。

A 譲渡を含め話はあったが、現在は進展なし。

湯沢学園の運営状況と関連委員会の協議内容

夏休みから外部の指導支援を取り入れ、校内指導体制や保護者対応を徹底。授業中の様子は落ち着いてきた。湯沢学園運営協議会の主な取り組みは、福祉フェスティバルの運営協力、あいさつ運動の推進等。拡大委員会を開催し、全職員との懇談、学園の課題と取り組みについてグループ協議を実施。

Q 湯沢学園協議会に外部アドバイザーを入れる予定は。

A 現在は考えていない。

Q 教育フェスティバルが学習発表会になっている。今後の方向性は。

A 来年度に向け検討。

雪国館改修工事の進捗状況

改修工事のハード面は主にバリアフリー化とエレベーター工事。構造設計の変更等に伴い工事日程変更あり。ソフト面ではプロジェクトセッション、デジタルサイネージ、多言語対応を導入予定。プロジェクトセッションマップはイベント時にのみ投影予定。

Q 設計はどが受けているのか。

A ソフト面は三条印刷、建物は関越総合企画設計。

Q 説明の多言語対応の方法は。

A スマホの対応を検討。

Q プロジェクションマッピングはイベント以外でも投影すべきでは。

A 今後検討。

指定管理施設の現状と課題

教育課の指定管理施設は雪国館と児童クラブ。雪国館は、湯沢町観光まちづくり機構が管理。貴重な歴史、民俗資料等の保全管理は引き続き町が関与。令和4年度の入館者数はコ

ロナ前に戻ってきた。改修工事完了後、事業を進めていく。

児童クラブは、湯沢町社会福祉協議会が管理。今までは小学3年生までの受け入れだったが子育て支援棟内への移行に伴い、6年生までに拡大。周知し利用者増加を進める。

その他

町民懇談会を1月末から2月頃に検討中。1月の議会日よりや広報でお知らせ予定。今回は子育て世代を対象とし、題材については検討中。

生活福祉常任委員会

湯沢町の介護人材の現状と課題

町内福祉事業所の職員数は令和3年度末より減少。介護人材就職支援金支給事業、介護人材確保支援事業補助金は前年度より増加。令和4年度から居宅介護支援事業所処遇改善補助を施設したが、どの事業所も改善なし。

Q 離職の理由はどうか。

A 追及していない。

湯沢町の療育事業の現状と課題

未就学児童に対する児童発達支援と就学児童に対する放課後等デイサービスを町内事業者こころのス

ペースが実施。「親子教室」「のびのび教室」「ことばの教室」を町内事業とし実施。継続的な相談支援が難しいことが課題。

Q 支援学校の子供をこころでは見ているか。

A 一人がサービスをつけている。

湯沢町の終活支援事業の現状と課題

地域ケア会議にて情報共有や勉強会を開催。社会福祉協議会や湯沢病院でも終活事業関連の勉強会を開催。独居高齢者や町民全体への周知が課題。

湯沢町の介護予防ボランティア支援事業の現状と課題

湯沢つながり隊の会員実人数は41名、利用実人数は52名。その他各種事業も行っているが、ボランティア数が減少し負担が増加。アシスタントの高齢化や担い手不足による負担増加が課題。

Q 人材不足に対しての根本的解決方法は。

A 根源は少子高齢化。国は地方創生で進めている。

Q ボランティアの有償化は如何か。

A つながり隊、配食サービスは有償。予防事業は会計年度任用職員。

産業建設常任委員会

湯沢町観光まちづくり機構のプロジェクトチームの進捗状況

6つのプロジェクトチームの進捗状況について詳細報告あり。

湯沢町観光まちづくり機構運営支援補助金の補助額算出方法

令和6年度当初予算編成方針に基づき査定し、予算要求額を決定。

Q コスモスランフェスタの評価は。

A 大変厳しい評価があった。民間移行し初開催であったため、評価を踏まえて改善する。

冬季除雪事業について

除雪体制について詳細説明あり。作業時間：午前4時～午後5時
除雪業者：
湯沢町道路除排雪特定共同企業体
(株)湯沢重機建設、(株)山井建設、
(株)文明屋、新潟みらい建設(株)

Q 除雪作業時の服装・行動の改善を。

A 苦情を受け即座に該当業者へ注意を実施。指導を行っていく。

Q 違法駐車により除雪が困難地区への対応は？

A 駐車車両の撤去対策を引き続き啓発していく。

令和5年度秋冬観光政策について

リゾート形成促進事業内容の詳細、路線バス運行問題、越後湯沢駅東口ロータリーの改善等について詳細報告を受ける。

Q ナイトマルシェは、屋内開催も検討が必要か。

A 費用対効果も含め検討。

Q 花火への予算確保予定は。

A 補助金を出す予定はなし。

ふるさと納税の状況

件数、金額ともに増加。一部業務を民間委託。
受託者：(株)ふるらぶ

Q 地場産の品物を地元で加工しなければならぬ規制ができた。現在の返礼品への影響は。

A フジロック関係のボックスティッシュが基準外となり担当が対応中。

移住定住の委託事業について

受託者：きら星(株)

移住生活体験施設の管理・運営移住相談対応。移住相談会への参加、自主開催24コミュニティ醸成につながる交流会の開催、情報発信(インスタグラム、V I T A 寄稿)空き家バンク申込物件調査、Webページへの掲載。

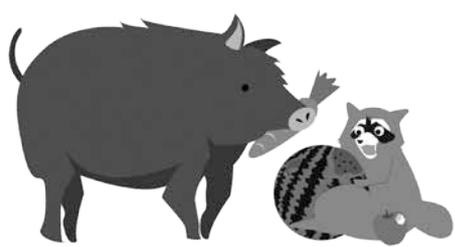
Q 複数世帯の住居形態は。
A 戸建て希望が多い。

農作物の作柄状況と鳥獣被害

米の品質低下の主な要因は、異常高温による心白粒、背白、肌ずれ等。鳥獣被害はアライグマの出没あり。外来種であり繁殖力が高く、個体数増加が懸念されるため今後警戒。

Q イノシシの出没増加中。4～5月までの間に捕獲することは可能か。

A 春の残雪期に足跡をかけて鉄砲で撃つのが有効。



管内視察(地域整備部建設課事業)実施

- ①主水公園整備工事
- ②区画街路4号線他舗装修繕工事
- ③区画街路4号線他消雪パイプ打替え工事
- ④みつまた親水公園整備工事

管外視察研修報告

生活福祉常任委員会

東京都・神奈川県 10月31日～11月2日

10月31日(火)	八王子市役所「介護人材の確保について」
11月 1日(水)	横浜市総合リハビリテーションセンター「療育事業について」
	横須賀市役所「終活支援事業（エンディングサポート事業）について」
11月 2日(木)	大井町役場「介護予防ボランティア支援事業について」

上記日程で視察研修を行って参りました。

【視察参加者】 副議長・白井孝雄

生活福祉常任委員会委員長・宮田真理子

生活福祉常任委員会副委員長・南雲あや子

生活福祉常任委員会委員・岸野雅人・高橋政喜・並木利彦・南雲好幸・水谷幸乃

健康福祉部長・田村雅彦 健康福祉部保健師・南雲かおる 議会事務局・南雲佐智子

八王子市役所行政視察「介護人材の確保について」

【八王子市の出席者】 福祉部 高齢者いきいき課 課長 以下3名

【介護人材確保施策】 介護人材の確保・定着・育成（事業展開のイメージは「目指せキャリアアップ」）

介護人材確保施策	財源	介護人材確保施策	財源
①生活支援ヘルパー研修	介護特会	⑥資格取得支援	東京都 3 / 4
②入門的研修	介護特会	⑦介護事業所経営課題解決支援	東京都 3 / 4
③介護助手就職相談会	介護特会	⑧認知症介護基礎研修	東京都 3 / 4
④福祉のしごと就職フェア	東京都 1 / 2	⑨介護人材表彰制度	
⑤日本語学習支援	東京都 1 / 2		

【所感】 これだけの対策を行い、またアンケート調査や活動実績・活動成果を検証し、計画期間中でも事業の見直しを実施していてもなお人材確保が難しくなっている。八王子市の介護認定率が低いという根拠は、介護予防事業によると分析されている。これは、湯沢町にも当てはまっている要素である。人口減少の進む将来に向け、まずは健康で生活できるよう予防事業の充実が必要であると実感した。

横浜市総合リハビリテーションセンター発達支援事業行政視察

【横浜市の出席者】 横浜市こども青少年局 紹介児福祉保健課 係長 及び職員1名

社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団 理事長 以下5名

【地域療育センターの概要と発達支援事業】

横浜市では、心身に障害のある児童及びその疑いのある児童の地域における療育体制の充実及び福祉の向上を目的として、市内各方面に「地域療育センター」を整備している。

〈対象児童〉 0歳から小学校期までの児童を対象に肢体不自由、知的障害など様々だが、現状初診を受けた児童の6割以上を発達障害が占めている。

〈利用申込〉 子供の数が減少する中であって、全体としては増加傾向が続いている。

【所感】 国内最大の政令指定都市である横浜市ですら障害児童の増加傾向に対応できていないという。

採用困難職種で人手不足。特効薬が無いため医師のなり手も少ない。しかし特効薬が無い代わりに療育があり、また、保健医療で賄えない部分を福祉で補い、更には、社会経済的に有益であるとのこと。財政的に大きくなければいけないことではある。障害児童の療育支援は専門家が必要。発

達障害は成長期の適正な時期に対処することが重要であるため、明らかに公的支援が必要な事業である。我が町で考えた場合、障害児童についての一般の理解増進と専門事業者への支えを充実していくことが重要と感じた。

横須賀市終活支援事業（エンディングサポート事業）行政視察

【横須賀市の出席者】 横須賀市民生局 福祉こども部地域福祉課 終活支援センター 主査 福祉専門官 北見氏
横須賀市議会 議会局 議事課長 川瀬氏

【横須賀市エンディングプランサポート事業について】

終活支援：動機の原因

独居死亡者の自宅で遺書が発見。しかし、預金をおろせる親族がいないため、男性の意思は生かされない。本人のお金は生かせず、市は費用負担しているのに、生前意思を聞いていないため生かせない。・・・なんとかできないか？

最善の策は、生前解決であり、死後の市民の尊厳を守り、結果として歳出抑制になる。

- 1, これからの市民は、自らの死後に責任を持つ努力を・・・エンディングノートのススメ
- 2, これからの行政は、市民の努力に報いる制度の整備を

終活登録制度の整備は急務

- 倒れた本人の連絡先を知ろうにもスマホはロックがかかり、104は機能せず。

最低でも行政の登録制度が必要

路上で倒れた方がいても、誰なのか？ 身元保証会社がどこののか？ 警察も消防も誰も分らない。皆、市役所にしか問い合わせてこないの、登録制度は市町村による整備が最善。



視察研修

【所感】 「高齢化と少人数化で、家族力・親族力が弱くなった」「墓の核家族化」という分析もあった。

独り身の方、家族とのつながりが希薄な方、また、地域力の低下など人間関係の希薄化は、家族という最小単位のコミュニティ継続が崩壊してきた結果ではないか。現状の市民の生活課題と行政の財政的課題解決は緊急性があるが、根本解決にはならない。本質的な家族・子孫の維持・継続をどのように考え持続可能な社会を創るか議論が必要と感じた。湯沢町でも終活登録制度の整備は早急に進めるべき。

大井町介護予防ボランティア支援事業行政視察

【大井町の出席者】 副議長 清水亜樹氏
福祉課長以下4名

【「おーい！元気会」運営サポーターの養成】

運営サポーター養成講座の開催 全受講者数58名
現在活動中のサポーター 20名

〈現サポーター年齢構成〉

最高年齢76歳 最低年齢48歳

〈平均年齢〉

登録時：62.7歳

現活動サポーター：67.2歳

【所感】 自治会離れも進み、若い方に担ってもらうため報酬設定も必要な時代になった。しかし、希望と可能性は、「町の手伝いというより、自分たちで計画し報酬ではなくサポーター自身が自分の介護予防として行う」ところにあると感じた。湯沢町もこの仕掛けを制度化できたら良い。

ボランティア募集は、広報と主にチラシをスーパー等身近な所へ置く。申込みに繋がるのは口コミが多い。介護ボランティアの支援事業は、「おーい！元気会」への支援のみ。若い方に担ってもらうため、ボランティアポイント制度導入。(1回2時間参加で1ポイント100円)

自治会活動参加時に民生委員1 / 3が関わり「報酬は要らない」という方々から始まったのが大きい。町の手伝いというより、自分たちで計画し報酬ではなくサポーター自身が自分の介護予防として行っている。



議長就任のご挨拶

湯沢町議会議長 白井 孝雄

私は、故南雲正前議長が突然ご逝去されたことに伴い、昨年11月8日の臨時議会において、多数の議員により信任をいただき第15代湯沢町議会議長の要職に就くことになり、その責任の重さをひしひしと感じているところであります。

前議長が偉大だっただけに心配な点多々ありますが、町民の皆様の代表として、開かれた議会、信頼される議会、関心を持っていただける議会の実現に向け精一杯務めさせていただきます。

昨年4月に行われた改選の結果、新人議員3名、女性議員が今までの倍の4名となりました。多様な人材が参画することにより、これまで以上に若者や女性の声を町政に届けられることになると思っています。二元代表制の一翼を担う議会として、執行機関と対等な立場に立ち、執行機関の行政運営を民主的に監視・牽制し町民の福祉向上に繋がるよう、適切な議会運営に取り組んでまいりますので、ご支援とご協力をお願い申し上げます。



副議長就任のご挨拶

湯沢町議会副議長 宮田 真理子

南雲 正 前議長のご逝去に伴い、令和5年11月8日の臨時議会において、副議長に就任いたしました宮田でございます。

前議長のご逝去から1カ月もたたないうちに議会の規則とは言え、議会の中の構成を改めなくてはいけないのは辛いものでしたが、「前へ、前へ」と前進してきたお気持ちを考え、これからは議員皆で、白井議長をお支えてまいりたいと思います。

1期目から3期目まで女性議員は一人でしたが、5期目の今は女性議員が4人に増えて議場も華やかになったように感じます。女性の視点での意見も期待できます。また、ITに強い議員も増えペーパーレス化等の改革にも期待できそうです。

生活福祉常任委員長の最後の仕事となった研修では、多くの委員から一般質問が上がり、実りある研修であったと思います。委員長は退くことになりましたが、今後は委員・副議長としてアグレッシブに頑張ります。

より一層、町民と共にある「開かれた議会」を目指し努めてまいりますので、叱咤激励、ご支援、ご協力をお願いいたします。

編集後記

この度の能登半島地震に謹んでお見舞い申し上げます。被災された皆様のご心労やご不便をご拝察致し案じております。どうかご自愛ください。いますよう心よりお祈り申し上げます。

今回の12月定例会は、故南雲正前議長のご逝去に伴い、議長、副議長が選出され、新しい議会運営の出版となりました。故南雲正前議長の議会運営への熱い思いを引き継ぎ、町民の声を議会に届け、湯沢町がより良い方向に向かうよう行政と一緒に進みたいと思います。

広報委員 並木 利彦

令和5年9月発行の151号に掲載しました次の記事におきまして、誤りがありました。

■26ページ 囲み記事「訃報」タイトル
(正) 悼む
(誤) 慎む
お詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

議会広報常任委員会

委員長	南雲 好幸
副委員長	水谷 幸乃
委員	飯田 正義
	南雲 あや子
	渡辺 千恵
	並木 利彦